

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

申第6号「南武線の川崎運輸区（仮称）」に関する申し入れを行う

これから5年・10年先へと発展を遂げていく当社にとっても、メガグループとして収入確保に努めている南武線の現実をみると、川崎運輸区（仮称）構想は社員のやる気につなげていかなければならない大きな施策であると言えます。南武線の乗務員・検修基地再編に伴う川崎運輸区（仮称）設立・鎌倉車両センター中原支区（仮称）という概要のみの説明ではなく、もっと丁寧に新しくスタートする運輸区の具体的な労働条件や労働環境を示すべきであると考えます。

中原電車区や矢向車掌区では「より多くの社員の考えや意見を取り入れていただきたい」という意見が組合員のみならず、多くの社員からも寄せられている現実があります。意見や要望は今だからこそ議論できる内容です。会社の具体的な構想や考えを明らかにし、労働組合との議論を通じて、より良いものにしていきたいと考えています。

そこで働く社員一人ひとりが、心配や不安を感じることなく業務が行えるようにしていくためにも下記の通り横浜支社へ申し入れを行いました。

【 申し入れ項目 】

- 1、川崎運輸区（仮称）の工事計画及び完成日、運輸区としてスタートする実施日を明らかにすること。
- 2、運輸区発足後、検修職場、所属、配置はどのように考えているのか明らかにすること。
- 3、川崎運輸区（仮称）の管理者・事務・運転士・車掌の要員をどのように計画しているのか明らかにすること。
- 4、川崎運輸区（仮称）の運用行路表・交番順序表・準備時間一覧表を提示すること。
- 5、今施策実施に伴い、社員の面談は行われるのか、また転勤希望を出している社員の異動、転勤はあるのか明らかにすること。
- 6、川崎運輸区（仮称）庁舎の設計図と、現在考えている設備を明らかにすること。
- 7、川崎運輸区（仮称）庁舎建設に際し、働きやすい環境・設備にするため社員の意見も反映できるように検討すること。
- 8、基地再編成に伴う宿泊地の変更はあるのか明らかにすること。
- 9、今使用している乗務員乗り継ぎ詰所はそのまま使用するのか、拡張等の検討がされているのか、また新たに乗務員乗り継ぎ詰所を設置する計画はあるのか明らかにすること。ある場合は場所・設備を具体的にすること。
- 10、川崎運輸区（仮称）に女性社員の配置、または関係する施設に設備を導入するのか明らかにすること。
- 11、川崎運輸区（仮称）庁舎の地震対策と、バリアフリー設備を整えること。
- 12、寝室の整備として、防音対策と空調は部屋ごとに調整できるようにすること。
- 13、新庁舎のカビ対策をすること。
- 14、トイレは各階に男女別に設置し、多目的トイレの設置をすること。
- 15、ロッカー室は人数に見合ったゆとりあるスペースを確保し、畳の場所を設置すること。
- 16、川崎運輸区（仮称）に喫煙ルームを設置すること。

全社員で声を上げ、安全で働きやすい職場環境を目指そう！